

展示観覧料金 ()内は団体料金
 一般 200円 | 小・中学生100円
 (140円) (70円)



永遠のタフガイ 石原裕次郎

～日本の映画を変えた男～

戦後最大のスターである石原裕次郎(1934-87年)は、兄・石原慎太郎の芥川賞受賞作『太陽の季節』(1956年)で映画デビュー、『俺は待ってるぜ』(1957年)、『嵐を呼ぶ男』(1957年)の大ヒット以降、映画スターとしての地位を築きます。また、『銀座の恋の物語』(1962年)など、石原裕次郎が歌う主題歌も爆発的な人気を得ました。1963年には「スタープロ」の先駆けとして石原プロモーションを立ち上げ、自ら映画製作に挑み、『太平洋ひとりぼっち』(1963年)、『黒部の太陽』(1968年)などの名作を世に送り出します。その後、テレビ製作の分野へと進出、数々のヒット作を放つとともに、幅広い世代に愛され続けました。逞子に育ち、海をこよなく愛した石原裕次郎は、52歳という若さで惜しまれつつ逝去されました。企画展期間内の7月17日は石原裕次郎の命日であり、没後25年の節目の年にあたります。また、本年は日活創立100周年でもあります。本企画展では、貴重な素顔の写真やポスターなど数々の資料で振り返るとともに、出演作10本の上映も行い、日本人が最も愛した「永遠のタフガイ石原裕次郎」に迫ります。



①「太平洋ひとりぼっち」(1963年)②「海の野郎ども」(1957年)③「婚約発表の次の日」(1960年)④⑤③/撮影：井本俊康④「日活映画 No.14」⑤「平凡別冊 No.20」⑥「裕ちゃんと女の部屋」LPレコード⑦「嵐を呼ぶ男」⑧「足にさわった青春」⑨「風浪四十米」⑩⑦⑧⑨/SPレコード⑩「富士山頂」(1970年)劇場公開時のポスター

＜展示協力＞
 石原プロモーション/日活株式会社
 /井本俊康/諸星日出男/音志社

映画観賞料金 (記念館窓口、島森書店(鎌倉店)、たらば書房にて先売券販売)
 一般 800円 | 小・中学生400円 全作品午後1時からの上映

映画観賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。

写真提供：©日活



先売券発売 6月16日(土)
 7月10日(火)～12日(木)
乳母車

110分/白黒/35mm/1956年
 原作：石坂洋次郎
 監督：田坂具隆
 撮影：伊佐山三郎
 共演：芦川いづみ、新珠三千代、宇野重吉、山根寿子

東京と鎌倉を舞台に、複雑な家庭環境を乗り越えていく好青年を演じた詩情溢れる青春映画。『太陽族』から一転、真面目で健康的な青年像は、裕次郎自身も好きな作品と語る。



先売券発売 7月21日(土)
 8月3日(金)～5日(日)
あした晴れるか

90分/カラー/35mm/1960年
 原作：菊村到
 監督：中平康
 撮影：岩佐一泉
 共演：芦川いづみ、渡辺美佐子、中原早苗、西村晃

◆4日は午後1時からの短編と映画共演券のみ販売
 新進気鋭のカメラマンとなった裕次郎は、依頼主の宣伝部員である才女・芦川いづみとともに「東京探検」の取材に出かける。コミカルな裕次郎が魅力的なアクションコメディ。



先売券発売 6月16日(土)
 7月13日(金)～15日(日)
俺は待ってるぜ

91分/白黒/35mm/1957年
 脚本：石原慎太郎
 監督：萩原信雄
 撮影：高村倉太郎
 共演：北原三枝、二谷英明、小形幹雄、草薙幸二郎

◆4日は午後1時からの短編と映画共演券のみ販売

大ヒットした主題歌をもとに、兄・石原慎太郎が脚本化。横浜・霧の波止場を舞台に、兄の復讐に立ち上がる元ボクサー・裕次郎と失意の歌手・北原三枝とが印象的な代表作。



先売券発売 7月21日(土)
 8月7日(火)～9日(木)
あいつと私

105分/カラー/35mm/1961年
 原作：石坂洋次郎
 監督：中平康
 撮影：山崎善弘
 共演：芦川いづみ、笹森礼子、吉永小百合、中原早苗

恋と政治のはざままで青春を謳歌する1960年の大学生を裕次郎が軽快に演じる。谷川俊太郎作詞による主題歌も美しく、裕次郎のユーモア溢れる姿が魅力的な名作。



先売券発売 6月16日(土)
 7月16日(月-祝)～18日(水)
太平洋ひとりぼっち

96分/カラー/35mm/1963年
 原作：堀江謙一
 監督：市川崑
 撮影：山崎善弘
 共演：田中絹代、森雅之、浅丘ルリ子、大坂志郎

◆17日は裕次郎の命日にあたり臨時閉館します。

石原プロによる第一回作品。太平洋横断を目指す孤独な青年像を演じた本作は、湘南に育ち、海とヨットをこよなく愛した裕次郎による念願の企画であった。芸術祭受賞作品。



先売券発売 7月21日(土)
 8月10日(金)～12日(日)
若い人

90分/カラー/35mm/1962年
 原作：石坂洋次郎
 監督：西河克己
 撮影：萩原憲治
 共演：浅丘ルリ子、吉永小百合、大坂志郎、三浦光子

女子校の新任教師となった裕次郎は、同僚・浅丘ルリ子と生徒である吉永小百合の間でゆれうごく。長崎を舞台に、美しい自然と裕次郎の笑顔が眩しい文芸作品。



先売券発売 6月16日(土)
 7月24日(火)～26日(木)
陽のあたる坂道

209分/白黒/35mm/1958年
 原作：石坂洋次郎
 監督：田坂具隆
 撮影：伊佐山三郎
 共演：北原三枝、芦川いづみ、川地民夫、小高雄二

原作は映画『エデンの東』から裕次郎をモデルに執筆。複雑な家族関係をもつ青年が、家庭教師として訪れた女子大生との出会いから自らの存在を見つめて直していく文芸大作。



先売券発売 7月21日(土)
 8月21日(火)～23日(木)
赤いハンカチ

93分/カラー/35mm/1964年
 脚本：小川英、山崎巖、舛田利雄
 監督：舛田利雄
 撮影：関宮義雄
 共演：浅丘ルリ子、二谷英明、川地民夫、笹森礼子

日活ムード・アクションの最高傑作。名作『第三の男』から影響を受けた本作は、裕次郎演じる過去に罪を背負った男の錯綜したドラマが、美しい旋律とともに描かれる。



先売券発売 6月16日(土)
 7月27日(金)～29日(日)
紅の翼

94分/カラー/35mm/1958年
 原作：菊村到
 監督：中平康
 撮影：山崎善弘
 共演：芦川いづみ、中原早苗、二谷英明、滝沢修

民間航空のパイロットとなった裕次郎は、八丈島へ血闘を屈けるため飛び立つが、機内で事件に巻き込まれる…。航空アクション映画として公開当時、大ヒットを記録した娯楽大作。



先売券発売 7月21日(土)
 8月24日(金)～26日(日)
富士山頂

125分/カラー/35mm/1970年
 原作：新田次郎
 監督：村野道太郎
 撮影：金宇浦司
 共演：波島哲也、山崎巖、星由理子、勝新太郎

石原プロ製作による本作は、富士山頂で巨大な気象用レーダーを設置する男たちの不屈の行動力をダイナミックに描いた。公開される機会の少ない貴重な名作。